

# ともに学ばん

ともに歩まん、ともに集だたん  
所沢市立安松中学校  
学校だより  
令和4年3月1日



校長 山元丈司

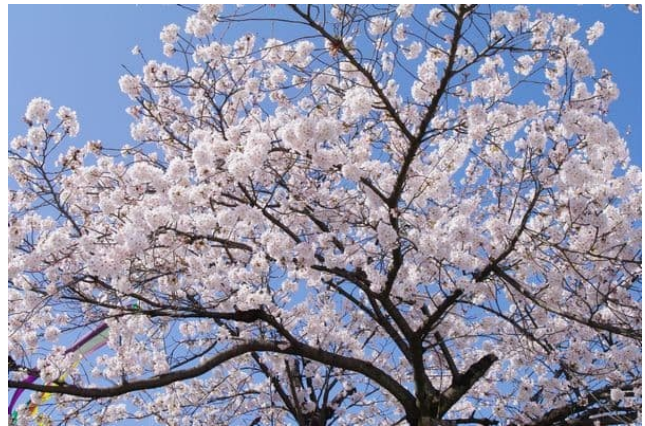
## 学校教育目標

- ・自ら学び考える生徒
- ・心豊かでたくましい生徒
- ・礼儀正しい生徒
- ・働くことに喜びをもつ生徒

## 宣言文

本校は「地域の香りを大切にし 地域とともにある学校づくり」を推進します

## 扉は重い方が良い



多くの芽吹きをもたらす春を迎えるたびに、「植物は、蓄積温度が満ちて発芽する」という言葉が浮かびます。2月1日以降、400℃を超えるとサクラは開花するなど是有名です。この時期の気候は、三寒四温を繰り返して、植物にも動物にも春を

もたらします。自然界の生き物たちは、揺れ動く気候の変化にその都度反応するのではなく、個体の持つ「発芽限界温度」を超す温度を「有効温度」として積算するといわれます。そして、発芽限界温度が生き物によって違うため、春の感じ方や成長の速度が異なるのです。

一方、鳥のように昼の長さで季節を知る生き物は、地球の動きに自らの行動を決めると言われます。いずれにしても、自然界の多くの生き物は自分を取り巻く環境から自分の育ちの時を知り、状況に合わせた生き方や育ち方を心得ています。それに対し私たち人間は、母親の体内で見守られている間、比較される事は、さほど多くありません。しかし生まれた途端に成長の早さがまわりと比較されがちです。成長の早さが学童期においても重視され、その後の成長に伴い、その視点が「質」へと移っていきます。

そこにあって、人の成長は、いかに人や社会のために役立つ力を獲得し、生かすことができるかが大切です。人間の成長に関わる環境は他の生き物の気温や時間の変化に代わる存在として見逃すことができません。

卒業、修了の時期を迎え、環境を私たち人間の意欲や経験、能力と関連付けてみるのが大切です。そこで自分を取り巻く様々な環境を自らの学びによって実生活に生かすことが必要です。苦労や問題などを刺激が少ない環境は、蓄積温度に寄与しない存在です。それに対し成長促す有効温度となる環境は、様々な課題解決に関わり多くの悩みや不安を抱えつつ、成長や発展の良い刺激になるといえます。その意味で、これまでの体験とともにこれから出会う苦労や困難と言う環境こそ、人の心の成長を流すと信じます。

「開ける扉は、重いほうが良い」、卒業生・在校生にこの言葉を送ります。

## 学校の様子から

		
武道の授業風景	武道の授業風景	技術家庭科・木工
		
3 送会に向けて	6 組三送会実施	期末テスト
		
3 年入試事前指導	計算力コンテスト実施	充実した清掃活動

### 三送会に向けて

3月3日に行われる三送会に向けて、各学年で準備が進んでいます。全校集会ができないため、各学年が工夫して、ビデオを作るなど、三年生への感謝の気持ちを表すため頑張っています。

### 中学校説明会(安松小・和田小)

コロナ禍で訪問ができないため、Zoom を使って、小学校 6 年生と本校生徒会役員による、中学校説明会が実施されました。小学校 6 年生から、中学校に関する質問があり、丁寧に生徒会のメンバーが答えていました。新入生の皆さんが入学してくるのを楽しみにしています。



### 3月の主な行事予定

(予定が変更になる場合がございます)

3 日(木)	三送会	7 日(月)	公立高校つい検査
4 日(金)	公立高校発表		
8 日(火)	あいさつ運動	22 日(火)	生徒朝会
11 日(金)	卒業式予行	23 日(水)	給食最終日
15 日(火)	卒業証書授与式	25 日(金)	修了式
18 日(金)	1・2 年生保護者会		